

「テンペスト」 ～琉球の大奥絵巻?～



国頭村立診療所 井上 比奈

沖縄県医師会員の先生方、こんにちは。暑中お見舞い申し上げます。国頭村立診療所の井上比奈と申します。那覇から国頭村辺土名に越して1年が過ぎ、ようやく慣れてまいりました。国頭村といっても広いので辺土名は役場もある中心地に位置し、今年度創立130年を迎える小学校もある僻地の中でも都会的な部分を併せ持った魅力的な町です。昨年度は内科認定医の試験や産業医講習のためあまりたくさんの本を読めなかったのですが、今回、凶書を推薦するようにお達しがありましたので当時ちょうど私が読んでいた琉球時代小説とでも言いましょうか、『テンペスト』池上栄一著を推薦したいと思います。文庫本で四冊ありますが、沖縄の昔話や歴史の話などが好きな私にとりましては琉球の風以来、琉球の歴史や文化を描いた物語としては読み応えがありましたし、軽く読める本だと思います。また読後グスクや御殿などの遺跡に行きたくもなりました。(今は遠すぎてすぐにはいけそうもありませんが、、、) テンペストとは嵐の意で、第一尚氏の末裔真鶴(まつる)という少女の誕生から話は始まります。琉球王国末期の王宮を舞台に、時代の変化の荒波が押し寄せる第二尚氏時代、才能があり向学心にあふれた彼女真鶴(まつる)は科試に最年少で合格し男として生きる決心をする。。彼女(彼?)は中国性の宦官を名乗り政府の役人になり、人を

愛し琉球を愛し懸命に生きるのですが、さまざまな計略にはめられ八重山に流刑されたりしながらも、王様(尚泰王;別名首里天加那志)の命により呼び戻され黒船に乗ってやってきたペリーとも対等に交渉しますが、同時にその美貌により王様の側室(おおあむしられ)として昼は男として夜は側室として波乱万丈な生き方をします。側室の暮らす御内原も首里で現在発掘中で覗き見ることができるようです。琉球の大奥といったところでしょうか。結果的には王様の子供を生みますが時は幕末、廃藩置県が行われ琉球処分がされ王国は滅び、沖縄県となりますのです。2011年に舞台化され、NHK BSでもドラマ化が決定されたと聞いております。主演は沖縄出身の女優、仲間由紀恵さんです。4月11日からは首里あたりで撮影が始まっているそうです。沖縄に住んで10数年があつという間に経過してしまいましたがまだまだ知りたいことがいっぱいです。お読みになっておられない先生方、歴史好きの先生におススメの本だと思い投稿させていただきます。(ネタバレすみません)

以下に参考になりそうなサイトを記しておきます。

目からウロコ!最新・琉球の歴史
<http://torohiko.ti-da.net/#top>